

後援会より一言

県議が、12月15日の予算特別委員会で「中心市街地の活性化」について質問されるという事を聞き、金森市議が市議会で同じ質問をされたのを傍聴していたので、市議をお誘いし傍聴をさせてもらった。

以前に一般質問をされたのを何回か傍聴した事はあったが、予算特別委員会の傍聴は初めてであったため興味があり、また質問内容も中心市街地に居住する者として関心もあった。

当日の質問者は5人で、県議が最初であった。

本会議と違って、質問者と答弁者が一対一で向き合い、納得できるまで問答を続ける方式で飽きかこなかった。

県議は、1時間の持ち時間を3項目に配分して質問された。

一人の持ち時間は1時間と聞いたとき、長いと思っ

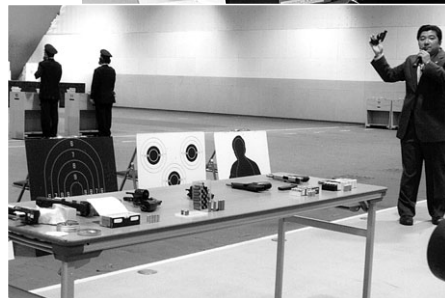
たが、質問内容は勿論のこと、真面目かつ真剣で紳士的な堂々たる質問態度であったので、あっと言う間に終わった印象だった。また、答弁する知事や担当部長も、県議の態度に対応した答弁だった。

私は、腕組みをしながら聞き入っていた。金森市議は真剣にメモを取りながら耳を傾けておられた。

持ち時間を有効に使い、終了時間約1分前に終わった。県議は終わってほっとした表情で席に戻られた。私も肩の荷を下ろした思いだった。

今後も支持者の方々に県議の活動の場を直接見ていただき、また県政に関心を深めていただくためにも、次の機会には一人でも多くお誘いして傍聴したいと思っている。

渡辺守人後援会 副会長 西田 修



▲ 富山県警察学校射撃場視察



▲ 石井知事の応援演説 (高岡市内にて)

富山県議会議員 渡辺 守人 (わたなべ もりと)

〈 県議会の役職 〉

- ・ 常任委員会 教育警務常任委員会 委員長
- ・ 特別委員会 地域活性化対策特別委員会

〈 自由民主党 政務調査会 〉

- ・ 文教公安部会 副部会長

〈 自由民主党 富山県支部連合会 〉

- ・ 総務会 副会長

● 現職

- 平成
- 9年 6月 日本ボーイスカウト富山県連盟助成会理事
 - 12年 5月 高岡交通安全教育推進協議会会長
 - 12年 7月 高岡市観光協会副会長
高岡フィルムコミッション副会長
 - 14年 11月 高岡商工会議所 常議員
 - 16年 6月 高岡交通安全協会定塚支部支部長
 - 17年 4月 高岡市立高陵中学校同窓会長
富山県高等学校定時制通信制教育振興会副会長
 - 18年 5月 高岡第一高等学校保護者会会長
6月 富山県私立高等学校PTA連絡協議会会長
 - 20年 7月 富山サンダーベースボールクラブ顧問



あとがき

平成21年に入り、いよいよ高岡では開町400年記念事業がスタートしました。一方では、経済状況は益々悪化し、大手企業の人員削減など暗いニュースが続いております。このような時代だからこそ、前向きな挑戦と決断力といったリーダーシップ、そして、思いやりや他人への気遣いなど心の問題が重要になってきていると思います。経済活動はもとより、我がまちの開町を祝い、思い出に残る一年になるよう、皆さんと共にがんばってきたいと思っております。今後とも、後援会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



(事務局)

利根くん

県政へご意見、後援会へのご要望をお聞かせください

ホームページ <http://www.w-morito.com/>
メールアドレス info@w-morito.com



W
Vol.16
2009.1

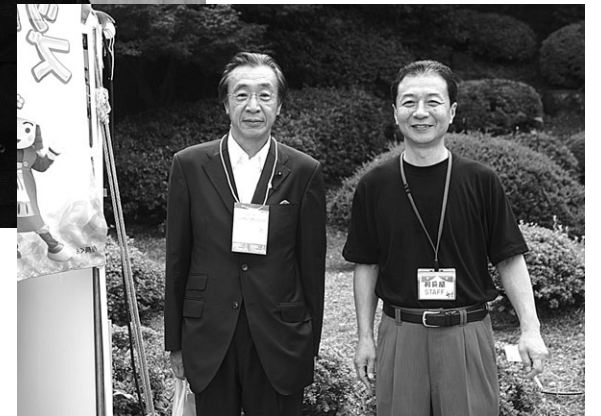
わたなべ 守人通信

... 発行 ...

渡辺守人 事務所
〒933-0023
高岡市末広町1023番地
TEL.0766-27-3636
FAX.0766-27-3637



県庁議事堂にて



高岡城総登城まつりにて、
高岡市商店街連盟会長 酒井敏行氏と
(9月13日(土))



ごあいさつ

富山県議会議員 渡辺 守人

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は私にとりましても大変多忙な年でしたが、元気で初春を迎えることが出来ました。これもひとえに後援会の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、昨年は9月のリーマンショックによる景気の悪化、また富山第3選挙区における衆議院議員候補者の問題、そして本年に入りましてもその対応で多忙を極めており、県議会議員としての責任を痛感致しております。

本年度も民意を出来る限りくみとり、県民の幸せのために全力を挙げて諸課題に取り組んでいく所存ですので変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

なお、平成20年度に私が県政において取り組んでまいりました主なことを14項目県政レポートとしてまとめましたので、ご一読願えれば幸いです。

おわりに、後援会の皆様方の益々のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ新年の挨拶にかえさせていただきます。

12月県議会 予算特別委員会 報告

【日時】2008年12月15日(月)

中心市街地の活性化・ 商店街の振興について 問う!

これまでの高度化資金の貸付状況と延滞状況、また、その返済負担が商店街活性化の障害となっている現状をどう考えるか。

〔斉藤商工労働部長〕

平成19年度末現在の貸付残高は、92件で約87億円となっており、うち約8億円が延滞となっている。昨今の厳しい商業環境のなかで、商店街振興組合等の経営状況の悪化、転出、廃業・倒産による空店舗が発生しており、組合全体として高度化資金の返済が滞っている。

今後も、状況をお聴きし、経営状況や償還能力等を踏まえ、経営指導の支援や償還猶予措置の実施に努めていく。



斉藤商工労働部長

高度化資金の償還猶予や債権放棄等の制度改正を国に働きかけるべき。

〔石井知事〕

現時点での債権放棄は困難であると考えている。最終償還期限の延長は、これまでも国に働きかけているが、さらに重要要事項として償還延長できる期間を現行の10年間から20年間に延長して、返済負担の軽減を要望している。県の「がんばる商店街支援事業」なども活用しながら、商店街の活性化を支援していく。



石井知事

まちなか居住の促進と地域安全の向上のため、中心市街地の不動産の流動化を図る方策を検討すべき。

〔井波土木部長〕

富山市、高岡市など4市で、中心市街地の住宅の取得に対して助成制度を設けている。また、8市町で空き家情報登録制度を設け、まちなか居住の促進を図っている。

「住宅市街地総合整備事業」や「土地区画整理事業」「優良建築物等整備事業」などの補助メニューがあり、今後とも、これらの制度を活用した魅力あるまちづくりを働きかけていきたい。



井波土木部長



まちづくりのランドデザインを統括する「まちづくりマネージャー」が必要と考えるが。また、新幹線開業を踏まえ、新駅と中心市街地の連携、観光施策を総合的に進める支援が必要だが。

〔石井知事〕

商業活性化や都市計画、観光振興等に関し、専門的な知識や経験を有し、司令塔的な役割を果たす「まちづくりマネージャー」を設置することは考えられる。国の戦略的中心市街地中小商業等活性化支援事業などを活用することが可能であり、具体化に向け、助言していきたい。

県有財産の処分・ 有効活用の推進について 問う!

街中にありながら平面駐車場にしか利用されていない、低利用地をどのように活用あるいは処分していくのか。

〔石井知事〕

県職員仮駐車場など低利用地は、市街地活性化のため民間に売却することも選択肢のひとつである。2月に行政改革委員会よりいただく提言を踏まえ、具体的な活用方策を検討したい。

職員住宅の集約化を検討すべきと考えるが。

〔荻澤経営管理部長〕

職員住宅については、現在、富山市内の3箇所に10棟180戸設置している。10年ほど前までは90%の入居率だったが、新しい建物でも築34年と老朽化し、入居率は54.4%になっている。今後、維持修繕費がかかってくることもあり、行政改革委員会でも議論していただき、集約化や敷地の有効活用策について検討したい。



荻澤経営管理部長

11.文化の振興

・世界文化遺産の登録推進

・「近世高岡」と「立山黒部」は

暫定一覧表への記載には至らなかった(暫定一覧表候補と決定)が、今回の提案を通して、いずれも、歴史的・文化的に大きな価値が認められることを内外の多くの方々に提示。

引き続き登録に向けて取り組んでいく必要あり。

前田利長墓所の国の史跡指定(11/21答申)

勝興寺・山町筋などの保存修理事業の推進、

金屋町の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた調査等を実施

・高岡市吉久の「さまのこフェスタ」、吉久の獅子舞「ハイッタ」



前田利長墓所視察



吉久の町並み



勝興寺保存修理事業

12.医療の充実

・医師の確保

・医学生への修学資金制度の拡充

・県内病院における研修体制の充実

・富山大学医学部の定員増(95人 → 105人)と地域枠の拡大等

・がん対策の推進

・とやまPET画像診断センター等を中心としたがん検診体制の充実

(厚生連高岡病院、高岡市民病院等が「がん診療連携拠点病院」に指定)

13.環境先端県づくり

・レジ袋の無料配布取り止め(平成20年4月～)

208店舗(4/1) → 398店舗(11/1)

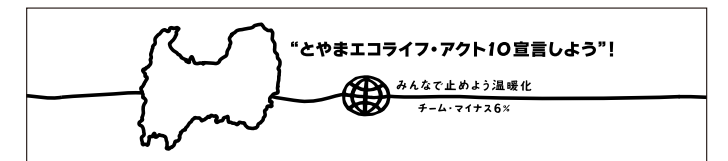
・エコライフ・アクト10宣言……県民の約8割が宣言

・仁右エ門用水発電所の整備……農業用水を利用した小水力発電の推進

・黄砂の広域的モニタリング体制の構築

・住宅用太陽光発電システムの導入促進【平成20年12月補正】

・富山県立大学に「環境工学科」開設(平成21年4月)



14.行財政改革の推進

・県職員給与の臨時的減額

〈平成17年～19年〉

知事等 △10～7%、一般職 △5～3%

〈平成20年～22年〉

知事等 △18～13%、一般職 △7～4%(地域手当含む)

・職員の削減……集中改革プラン

(平成17年～22年で一般行政 △10.3%、全職員 △5.2%)

・公の施設・外郭団体の見直し……スキー場の富山市移管

TIC日本語学校の廃止など

平成20年度 渡辺守人 県政レポート



1. 景気・雇用対策、 原油・原材料価格の高騰・金融不安への緊急支援

- ・緊急経営改善資金(借換資金)の拡充(12/1~)
 - 融資限度額の引上げ 4,000万円 → 8,000万円
 - 融資期間の延長 7年以内 → 10年以内
 - 融資要件の緩和 売上高減少率 △5%以上 → △3%以上
- ・経済変動対策緊急融資の拡充
 - 融資利率の引下げ(12/1~) 年1.90%以内 → 年1.65%以内
 - 要件緩和(10/31~) 売上高減少率 △10%以上 → 売上総利益率、営業利益率 △3%以上
 - 融資限度額の引上げ(10/1~) 6,000万円 → 8,000万円
- ・設備投資促進資金の融資利率の引下げ(10/1~)
 - 融資利率 年2.1%以内 → 年1.9%以内
- ・労働局と連携しつつ「緊急求人確保対策」を実施
 - ・「富山県U・Iターン無料職業紹介所」の設置(県労働雇用課内)(9/29)
 - ・「ミニ合同企業説明会&面接会」の参加企業の拡大(毎月24社 → 30社)
- ・緊急雇用対策支援員の配置(2名)【20年12月補正】

2. 北陸新幹線の整備促進

- ・平成26年度末までに金沢まで開業
- ・地域間競争の激化・ストロー現象の防止が課題
- ・高岡駅周辺、新幹線新高岡駅(仮称)周辺の整備推進
- ・地方負担(1/3)の大幅軽減が実現……累計で約300億円
- ・平行在来線対策……将来にわたり持続可能にする新たな仕組みの確立が不可欠



北陸新幹線の建設現場(庄川橋梁)

3. 東海北陸自動車道など道路網の整備促進

- ・平成20年7月全線開通 今後4車線化へ!
- ・高岡開町400年に向けて大きな弾み
- ・全線開通の効果を県下全域に波及させる必要
- ・能越自動車道、県道高岡環状線等の整備促進

【全線開通後の休日交通量(～10月末)】

白川郷～五箇山 9,900台(前年の2.9倍)

五箇山～福光 10,300台(前年の2.5倍)

【道の駅等の売上(7～10月)】

氷見「海鮮館」……前年の40%増

黒部 海の駅「生地」……前年の13%増

4. 広域・国際観光の振興

- ・JR山手線車体広告、名古屋駅での巨大広告
- ・岐阜県等と連携した広域観光……協同マップ、道の駅スタンプラリー
- ・国際観光の推進……台湾、韓国、中国、香港からの誘客促進
- ・産業観光の推進……全国産業観光推進フォーラムin富山(9月)
- ・観光振興戦略プランの策定に着手(来年秋頃までに策定)
- ・県ゆかりの映画製作による本県のPR
 - ・浅野総一郎氏(「京浜工業地帯の父」、氷見市藪田出身)の映画「九転十起の男」(3部作、平成18年から順次公開)
 - 「弁天通りの人々」(11/25・26氷見市でロケ、来春公開予定)
 - ・新田次郎氏原作「劔岳 点の記」の映画化(平成21年夏公開予定)

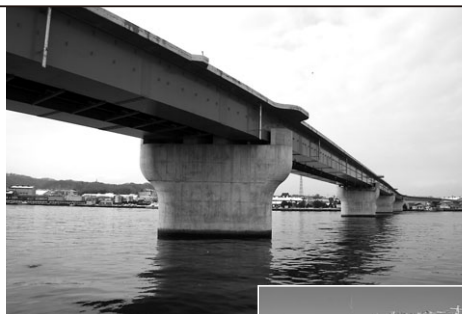
【立山黒部アルペンルート外国人観光客数】

4年で5倍に増加!

(平成15年 2.3万人 → 平成19年 11.5万人)

5.伏木富山港の整備促進

- ・コンテナ貨物取扱量の増大(平成9年～19年の10年で2.3倍に)
国際定期コンテナ航路・・・4航路(月38便 → 過去最高の便数)
- ・伏木外港多目的国際ターミナルの供用開始(平成18年3月)
- ・伏木外港1号線(伏木万葉大橋)の整備促進
- ・伏木外港の北防波堤の延伸(150m、平成19年着手)
- ・ロシア・欧米・環日本海 物流・観光懇話会の設置(10月)
- ・ポートセールスの実施・・・ロシア極東港湾調査団の派遣(11月)



伏木万葉大橋(建設中)



飛鳥Ⅱ(伏木港)

6.企業立地の促進

- ・県企業立地促進計画の策定(平成19年7月 全国第1号)
日本ゼオン・・・研究所・工場の立地(平成17年竣工、高岡市 約50億円投資)
工場の立地(平成19年竣工、氷見市 約200億円投資)
- ・コマツキャストック・・・工場の立地(氷見市 約50億円投資)
- ・パナソニック・・・半導体イメージセンサーの工場
(平成20年秋着工、砺波市 約940億円投資)

【富山県の承認状況】

件数：19件・・・全国一
総投資額：1,488億円

7.新産業の創出

- ・国の第2期知的クラスター創生事業に
「ほくりく健康創造クラスター」が採択(平成20年～24年)
- ・「世界の薬都」であるスイス・バーゼル地域との相互交流

8.中心市街地の活性化

- ・平成19年11月30日 高岡市の基本計画が認定(全国第4グループ)
 - 1.まちなか交流人口の拡大
 - 2.まちなか居住の推進
 - 3.中心商店街の賑わい創出



県庁議事堂にて、
西田修定塚支部長、金森一郎高岡市議会議員と

9.少子化対策・子育て支援

- ・「とやまっ子 子育て応援券」の配布(10月～)
第1・2子に1万円分、第3子以降に3万円分 → 一時保育、乳児健診などに利用
- ・子どもの居場所づくり・・・放課後児童クラブ
とやまっ子さんさん広場等の設置促進
- ・とやまで愛(出会い)サポート事業・・・これまでに4組が婚約・結婚
- ・少子化対策・子育て支援条例(仮称)の制定(来春予定)について検討

合計特殊出生率<昭和52年(30年前)>1.85% → <平成19年>1.34%



10.教育の振興

- ・富山市における中学校選択制の導入(平成20年4月～)
- ・中学校1年生での選択制による35人学級の導入
- ・いじめ・不登校対策・・・小学校へのスクールカウンセラーの配置
(平成19年～全公立中学校に配置済み)
- ・県立高校の再編計画<前期(～平成24年)>
二上工業高校 + 高岡工芸高校 → ものづくり中核校に!
有磯高校 + 氷見高校 ほか
- ・学校施設の耐震化の推進(伏木高校(平成20年)ほか)